

早稲田大学レジリエンス研究所 (WRII)
「可逆性アプローチによる高レベル放射性廃棄物 (HLW) 管理政策と世代間公平性」
第 17 回科研バックエンド問題研究会
議事録

日時：2019 年 11 月 11 日 (月) 18:00 - 20:00

会場：早稲田大学早稲田キャンパス 19 号館 713 会議室

出席者(敬称略)：

研究会メンバー

松岡俊二	早稲田大学国際学術院 (アジア太平洋研究科)・教授
勝田正文	早稲田大学理工学術院 (環境・エネルギー研究科)・教授
師岡慎一	早稲田大学理工学術院 (先進理工学研究科)・特任教授
松本礼史	日本大学生物資源科学部・教授
黒川哲志	早稲田大学社会科学総合学術院 (社会科学研究科)・教授
竹内真司	日本大学文理学部・教授

事務局

CHOI Yunhee	早稲田大学アジア太平洋研究科・博士後期課程
山田美香	早稲田大学アジア太平洋研究科・博士後期課程

議題：

- 今後の研究計画について
 - 可逆性アプローチと世代間公平性についての具体的な研究の進め方について議論した。
 - 第 2 フェーズの市民会議の開催について議論し、第 1 フェーズの市民会議の参加者を対象に、可逆性アプローチと世代間公平性をテーマに、専門家と議論する場を形成することとした。
 - 具体的な今後の予定：
 - 2020 年 1 月 23 日 (木) に第 18 回研究会を開催し、第 2 フェーズの市民会議の基本デザインについて議論する。可逆性アプローチと世代間公平性をテーマに、どのように市民に説明し、議論するのかを、先行研究のサーベイなども含めて考える。
 - 2020 年 2 月中：専門家(笹尾氏、藤村先生、寿楽先生、寺本先生)を含む拡大研究会を WS として開催する。2/10 (月)、2/12 (水)、2/14 (金)、2/17 (月) が候補日。
 - 2020 年 3 月下旬：市民会議の事前説明会を開催する。3/28 (土) が候補日。
- イギリス出張 (エディンバラ大学で国際会議・報告)
- その他、今後の予定など
 - 1/23 (木) 18:30 から 第 18 回科研バックエンド問題研究会を開催する。

今後の予定

2019 年	
12 月 6 日 (金)～12 月 16 日 (月)	イギリス出張
2020 年	
1 月 23 日 (木) 18:30-20:30	第 18 回科研バックエンド問題研究会
2 月 10 日 (月)、12 日 (水)、14 日 (金)、17 日 (月)	科研バックエンド問題 WS
3 月 28 日 (土)	市民会議の事前説明会